

春日井市地域公共交通網形成計画(素案)の6～8章の総括について

令和2年度第1回春日井市地域公共交通会議資料

公共交通の基本的な課題	○周辺都市とのアクセス利便性の活用 ○地域特性を踏まえた高齢者を始めとした市民の移動手段の確保 ○運転手不足への対応 ○公共交通の利用促進						
基本理念	(仮)暮らしやすさを実感できる公共交通網の形成 ～持続可能なライフタウン～						
目標	目標1 鉄道とバスによる利便性の高い公共交通網の形成		目標2 多様な交通の組み合わせによる市民の移動手段の確保		目標3 みんなで支える公共交通の体制づくり		
目標と評価指標のつながり							
評価指標	乗降客数3,000人/日以上の駅のバリアフリー化率	市内バスの利用者数 (関連する評価指標) バスを利用した市民の割合	公共交通の人口カバー率	シティバスの収支率	コミュニティ交通の満足度	バスを利用した市民の割合 (関連する評価指標) 市内バスの利用者数	
目標値(現況値→目標値)	71% → 100%	5,518千人 → 5,530千人	93% → 95%	23% → 23%	2.53 → 2.80	28% → 31%	
施策	1 駅及び駅前広場の整備・バリアフリー化	●				○	
	2 路線バスサービスの維持		●	●	○	○	
	3 バス待ち環境の改善	○	●			○	
	1 かすがいシティバスの再編		○	●	●	●	○
	2 地域の実情を踏まえた移動手段の導入		○	●	●	●	○
	3 タクシーや民間自主運行事業との連携		○	●	○	●	○
	4 先進技術の活用による移動手段の確保		○	●	○	●	○
	1 料金割引制度の拡充・周知		●				●
	2 交通事業者の運営支援(運転手の確保)		○	●		○	
	3 バスの利用意識を醸成させるイベントの実施		○		○	○	●
	4 多様なツールによる運行情報の周知・改善		○		○	○	●
	5 交通手段間のシームレスな乗継ぎの支援		○		○	○	●
	6 地域で公共交通を支える制度・体制づくり		○		○	○	●

●: 目標達成に特に寄与する施策、○: 目標達成に寄与する施策